

第2次雲仙市環境基本計画

ゼロカーボンが実現し、
豊かな自然に囲まれ、
真に安心して快適な環境で過ごせるまち



令和7年3月
雲仙市



計画策定の背景

雲仙市は、平成17年10月に、市民が健康で安全かつ快適な生活を営む上で、良好な環境の確保することを目的とした「雲仙市環境保全条例」を制定し、これに基づき、平成27年3月に雲仙市環境基本計画（目標年度：令和6年度）」（以下、第1次計画という）を策定し、令和3年3月に中間見直しを行いました。

第1次の計画では、全市民が環境問題に向き合い、地球温暖化問題や廃棄物問題などの解決に向け取り組んでいく決意として、平成24年に制定した「雲仙市環境都市宣言」で示した「人と自然が共存する潤いのまち雲仙」を、第1次計画の雲仙市がめざす環境像に位置付け、市民・事業者・市の協働により、その実現に向けて取り組んできました。

この間、我が国の環境問題を取り巻く社会情勢は変化し続け、平成27年12月にはCOP21でパリ協定が採択、平成28年11月に発効され、日本では、令和12（2030）年度の温室効果ガス排出量を平成25（2013）年度比で46%削減することを目標として掲げるとともに、令和32（2050）年までに温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにするカーボンニュートラルを目指すことを宣言しています。

この社会的な動きを鑑み、雲仙市でも、令和4年11月策定の「雲仙市脱炭素計画」、令和6年3月改定の「雲仙市地球温暖化対策実行計画」に基づき、本市の特性を活かした取り組みを加速させるとともに、令和5年2月に2050年までに雲仙市における二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」の実現を表明し、市民・事業者・市が一体となり、地球温暖化問題に関心を高め、再生可能エネルギーの導入や省エネルギー行動に取り組んでいます。

令和6年5月には、我が国の環境施策の大綱を定める第六次環境基本計画が閣議決定され、現在及び将来の国民一人一人の「ウェルビーイング／高い生活の質」の実現を目指すことが位置付けられました。

一方、平成27年9月には「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で示された国際目標であるSDGs（Sustainable Development Goals）が国連サミットで採択され、我が国においても地方自治体を含む様々な事業体でSDGsの目標に資する取り組みを推進しています。

こうした社会情勢やこれまでの雲仙市における環境課題への取り組みを踏まえ、今後の新たな10年間の環境への取り組みを定めた「第2次雲仙市環境基本計画」を策定しました。

計画の位置付け・期間

本計画は、雲仙市環境保全条例第3条に基づき策定するものであり、上位計画である「第2次雲仙市総合計画」に掲げる市の将来像「“つながり”で創る賑わいと豊かさを実感できるまち」を環境面から実現し、本市の良好な環境を保全するため、総合的な施策を策定するものです。

計画に基づく取り組みは、市民、事業者、市のそれぞれの立場や役割で実施するものであり、三者協働で推進していくものとします。

本計画の計画期間は、令和7（2025）年度から令和16（2034）年度までの10年間とします。

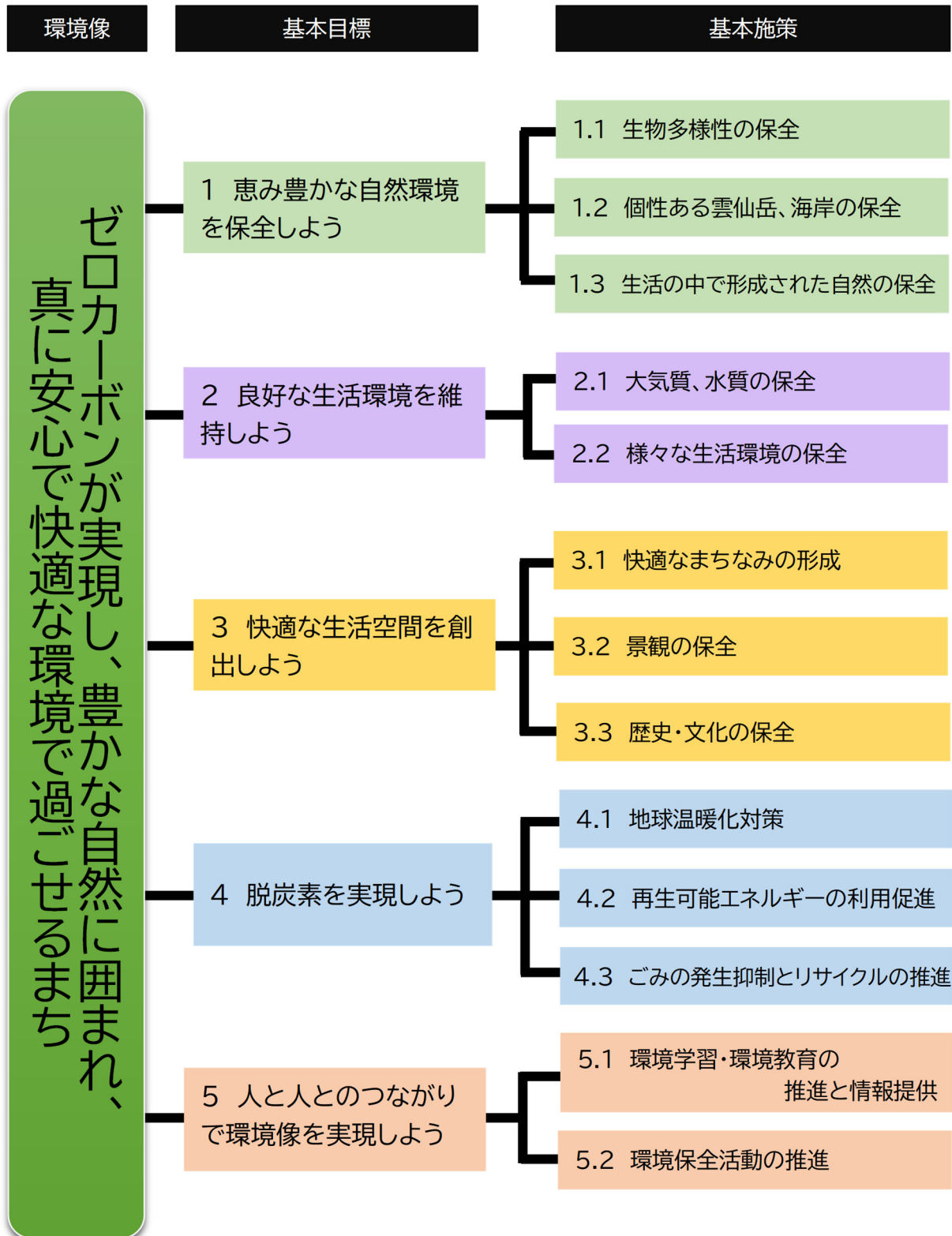
なお、本計画は長期にわたる計画であるため、社会情勢等を踏まえ、必要に応じて中間見直しを行うものとします。

雲仙市が目指す環境像

第2次雲仙市環境基本計画の目指すべき環境像を、『ゼロカーボンが実現し、豊かな自然に囲まれ、真に安心で快適な環境で過ごせるまち うんぜん』とし、これまでに培った「人と人とのつながり」を活かして、市民、事業者、市の「オール雲仙」による環境行動を推進していくものとします。

目指す環境像を実現するための計画の体系

「ゼロカーボンが実現し、豊かな自然に囲まれ、真に安心して快適な環境で過ごせるまち」を実現するため、次のとおり5つの基本目標を掲げ、13の施策を推進します。



目指す環境象を実現するための取り組み

本計画で示す各取り組みは、目指すべき環境象の実現に向けた行動であるとともに、「SDGs（持続可能な開発目標）」に資する取り組みとして位置づけます。

【SDGsー「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」ー】

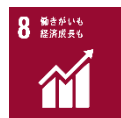
SDGsは、地球環境と人々の暮らしを持続的なものとするため、すべての国連加盟国が令和12（2030）年までに取り組む17分野の目標のことです。

発展途上国への開発協力だけでなく、生産と消費の見直し、海や森の豊かさの保護、安全なまちづくり等、先進国が直面する課題も含まれています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1 恵み豊かな自然環境を保全しよう



市

- 緑のまちづくりに関する市民団体や関係機関との連携のもと、雲仙市固有の生物・生育環境の確保や郷土種の積極的な保全を図ります。
- 雲仙岳の歴史資源を活かし、歴史豊かで雄大な自然環境を保全します。
- 耕作放棄地の意向調査や農地情報の提供を通じて、担い手とのマッチングを推進し、耕作放棄地の解消を図ります。

市民

- 自然や生態系に興味・関心を持ち、自然保護活動や環境学習、環境ボランティアなどには積極的に参加します。
- 地元農作物を積極的に購入します。

事業者

- 自然環境に配慮した事業活動に努めます。
- 自然保護活動や環境学習へ積極的に参加して知識を深めるとともに、市民団体等の活動支援を行います。

2 良好な生活環境を維持しよう



関連する
SDGs の目標



市

- 県や関係機関と協力し、工場・事業所に対し、設備の適正な管理や排出基準の遵守について指導します。
- 生活排水対策として、定期的な河川水質調査を行い、水質の状態を把握します。また、EM 活性液を活用するなど、生活排水対策のより一層の促進を図ります。

市民

- 公共下水道への接続や合併処理浄化槽への切り替えに努めます。
- 家庭でも簡単にできる生活排水対策を実践します。
- 自動車を購入する場合は、環境負荷の少ない自動車を選びます。

事業者

- 工場・事業所からの排ガスや排水は適正に処理するとともに、法令に基づく公害防止対策を実施し、規制基準の遵守を徹底します。
- 建設作業を行う際は、遮音壁の設置や低騒音・低振動型機械を使用するなど環境に配慮して行います。

3 快適な生活空間を創出しよう



関連する
SDGs の目標



市

- 地域の公園緑地の整備状況や市街地の状況に応じて、公園の適正配置や計画的な維持管理、広場等の有効利用を進めます。
- 各地域の特性に応じた街並み景観形成を推進するとともに、本市特有の優れた景観の保全に努めます。
- 市内の緑化活動を推進し、市民の緑化への意識の向上を図ります。

市民

- 公園や街路樹等の身近な緑に興味・関心を持ち、緑化活動や美化活動などには積極的に参加します。
- ペットを飼う場合は、飼育マナーを守り近隣に迷惑をかけないようにします。

事業者

- 工場・事業所の敷地内や屋上・壁面の緑化に努めます。
- 緑化活動や美化活動へ積極的に参加して知識を深めるとともに、市民団体等の活動支援を行います。
- 屋外広告物を設置する際は、周辺環境に配慮します。

4 脱炭素を実現しよう



関連する
SDGs の目標



市

- 庁舎等への積極的な太陽光発電の導入を行います。また、導入時は蓄電池との組み合わせにより、平常時も停電時も、どちらの場合にも活用できるエネルギーマネジメントシステムを構築します。
- 不法投棄等の発生を防止するため、環境監視員を配置し、監視体制の強化を図ります。また、改善に向けて関係機関と連携して指導を行います。

市民

- 自転車や公共交通機関を積極的に活用し、温室効果ガスの削減に努めます。
- ごみの分別やマイバッグの持参、節電・節水など、日常生活の中でできる取り組みを実践します。

事業者

- 太陽光発電など再生可能エネルギーを利用した設備を導入します。
- 廃棄物の発生抑制に努めるとともに、発生した廃棄物については適正処理を徹底します。
- ごみの分別を徹底するとともに、リサイクル製品を積極的に活用します。

5 人と人とのつながりで環境像を実現しよう



関連する
SDGs の目標



市

- 家庭、地域、学校、職場などにおける環境教育、環境学習の充実を図り、環境保全に関する意識啓発に努めます。
- 各種市民活動団体・ボランティア団体などの活動支援に努め、地域に即した環境保全活動に取り組みます。

市民

- 環境に関する情報の収集に努め、環境に関するイベントや環境学習には積極的に参加します。
- 他主体（市・事業者）との連携や協力を強化します。

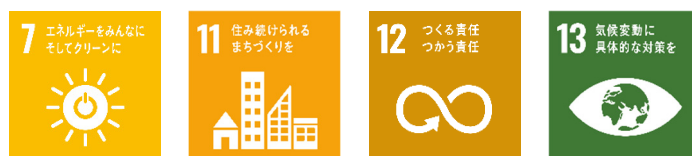
事業者

- 環境に関する情報の収集に努め、環境に関するイベントや環境学習には積極的に参加するとともに、市民団体等の活動支援を行います。
- 従業員への環境教育を推進します。
- 他主体（市・市民）との連携や協力を強化します。

リーディングプロジェクト

本市の環境の現状や課題、地域特性などを踏まえ、本計画の目指す環境像の実現に向け、計画推進の初動を促し、先導的な役割を果たす取り組みをリーディングプロジェクトとして位置づけ、その実施内容、役割及び数値目標等を設定します。

【リーディングプロジェクト】 「賑わいと豊かさの中でゼロカーボン実現」プロジェクト



●先導的な役割を果たす取り組み例

- ◆ 地球温暖化対策を進めます！
 - ✓ 地球温暖化対策実行計画を推進します。
 - ✓ クールビズ、ウォームビズを推進します。
 - ✓ 公用車へクリーンエネルギー自動車を導入します。
 - ✓ 森林の適正な維持管理を行います。
- ◆ 再生可能エネルギーの利用を進めます！
 - ✓ 「ゼロカーボン・うんぜん」の理解促進に取り組みます。
 - ✓ 様々な再生可能エネルギーの利用を推進します。
 - ✓ 庁舎等へ太陽光発電を導入します。
 - ✓ 太陽光、蓄電池等の再エネ・省エネ設備導入時の支援を行います。
- ◆ ごみの量を減らしてリサイクルを進めます！
 - ✓ 4R 運動を推進してごみ減量化に努めます。
 - ✓ 監視体制を強化して不法投棄の防止に努めます。
 - ✓ 市民や事業者に対して分別の徹底を指導します。
 - ✓ 効率的なごみやし尿の収集・処理体制を構築します。
 - ✓ グリーン購入を促進します。
 - ✓ 生ごみ処理機器等の導入を促進します。
 - ✓ ごみの減量化等の取り組みを行っている「ごみ減量推進店」を市民に PR します。
 - ✓ ストックハウスの利用率を向上させます。
- ◆ 脱炭素に関する普及・啓発を進めます！
 - ✓ 啓発・広報活動を充実させます。
 - ✓ 市民や事業者に向けた見学会・学習会を実施します。
 - ✓ 市民や事業者と協働してイベントやキャンペーンを実施します。

●環境指標

指標	単位	現状 (R5)	中間目標 (R11)	目標 (R16)
庁舎使用電力量（庁舎増築分含む）	kWh	771,284	770,000	770,000
木質等バイオマスの設備導入	施設	1	2	4
地熱発電施設（温泉水）導入件数	施設	1	2	2
生ごみ減量化量	t	275	325	365
ごみの再資源化率	%	15	24	31
1 人 1 日あたりのごみ排出量	g/人・日	987.4	812.8	720.0

計画の進行管理

● 進行管理の考え方

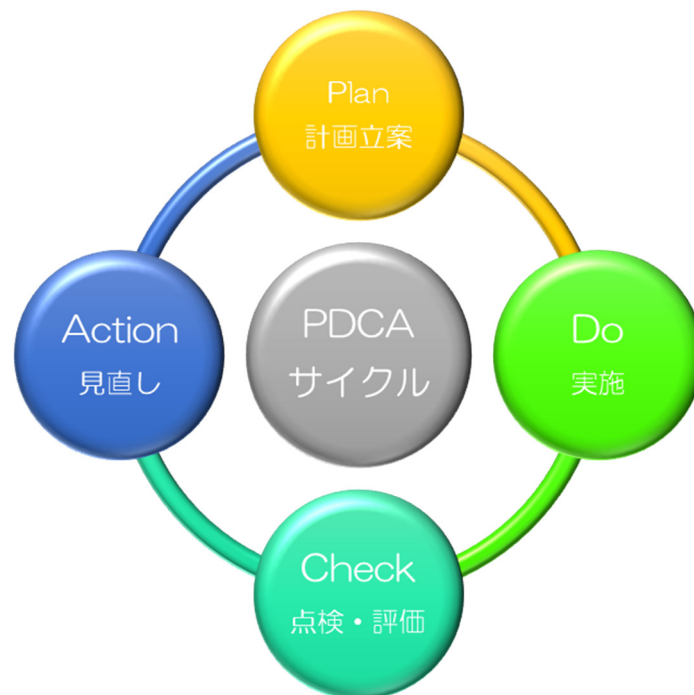
計画の実効性を確保するため、計画策定から具体的な行動の実施、点検・評価、見直しまでの流れを、Plan（計画立案）→ Do（実施）→ Check（点検・評価）→ Action（見直し）による環境マネジメントサイクルにより進行管理していきます。

● 進行管理の方法

進行管理については、5つの基本目標について位置付けた施策や取り組み、数値目標を中心に実施していきます。特に、リーディングプロジェクトとして位置づけた、「賑わいと豊かさの中でゼロカーボン実現」プロジェクトに関する取り組み及び数値目標については重点的に実施していきます。

具体的には、市の環境の状況や、施策の実施状況、数値目標の達成状況などを定期的に把握・調査し、「雲仙市環境保全審議会」や庁内への報告を行い、意見・提言をいただき、計画を見直し、それに基づくさらなる取り組みを実施していくものとします。

なお、第5章に示した取り組みについては、中間見直し時において、基本目標に対する取り組み実績について確認し、必要に応じた修正、追加、削除を行うものとします。



第2次雲仙市環境基本計画

【概要版】

令和7年3月

雲仙市環境水道部環境政策課

〒859-1107 長崎県雲仙市千々石町戊582番地

TEL 0957-47-7813 FAX 0957-37-2131

E-mail kankyo@city.unzen.lg.jp